

# トヨタ純正

## プロジェクションイルミネーション

### 取付要領書

このたびは、トヨタ純正プロジェクションイルミネーションをお買い上げいただきありがとうございます。  
本書はプロジェクションイルミネーションの取り付け要領について記載してあります。  
取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。

#### 品番

品番

0852D-42100

#### 構成部品

No.	品名	品番	個数
①	ランプSUB-ASSY (識別記号[エ8])	0852D-42110	2
②	タッピングスクリュー(φ4×16)	———	4
③	クランプ	———	36
④	マウントベース	———	2
⑤	スポンジテープ	———	2
⑥	メインハーネス (識別記号[Cア])	———	1
⑦	ドアハーネス (識別記号[Lソ])	———	2
⑧	コネクタ(白色2Pオス)	———	2
⑨	リベット	———	6
⑩	型紙RH (識別記号[M238R])	———	1
⑪	型紙LH (識別記号[M238L])	———	1

#### 取り付けに必要な工具・部品等

・一般工具、モールディングリムーバー、ニッパー、ハサミ、針金、メジャー(布)、保護テープ、ビニールテープ、ガムテープ、ケガキ針、脱脂剤等【イソプロピルアルコール(IPA)純度100%推奨】、ウエス、マスキングテープ、電気ドリル、ドリル(φ5)(φ8)、ヤスリ、保護シート、カッター、ケブラ手袋、精密ドライバー(-)、リベッター、防錆剤、保護めがね、掃除機

## 取り付け上の注意事項

この取付要領書では安全な作業をしていただく為、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています

- ⚠ 警告…警告事項を守らないと生命の危機、または重大な傷害につながる恐れがあることを記載しています。
- ⚠ 注意…注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたりする等の恐れがあることを記載しています。  
注意…注意事項を守らないと車両や装備品が破損する等の恐れがあることを記載しています。
- 🖱️ アドバイス…スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

- (1) 車を水平な場所に停車してパーキングブレーキを引き、輪止めを確実に行ってください。
- (2) 下回り作業中は安全に配慮し、エンジン始動及び乗車は絶対にしないでください。
- (3) 車両部品の取りはずしに際しては、タッピング・スクリューやボルト、ナット類を紛失しないよう部品毎に整理し、復元作業時には間違いのないように配慮してください。また、車両及び取りはずした部品に傷を付けないよう取り扱いには充分注意してください。
- (4) バッテリー復元作業終了後、車両機能部品に初期化が必要な部品がありますので、作業終了後は必ず初期化作業を行ってください。
- (5) 貼り付け面に油脂分や汚れが付いていると脱落、剥がれの原因になりますので、脱脂剤等【インプロピルアルコール(IPA)純度100%推奨】で十分に拭き取り、脱脂してください。
- (6) 脱脂剤等【インプロピルアルコール(IPA)純度100%推奨】を使用する場合は、火気に充分注意してください。

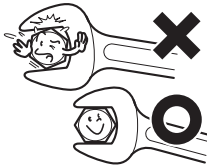
### 取り付ける前に

- バッテリーの(+)側ケーブルをはずす



### 部品の取り付けは

- 寸法にあった工具を使う



- 裏側に注意し、ハーネス噛み込みに注意する



### 配線は

- コネクタは本体を持ってはずす



- 車両ハーネスとまとめたり、クランプを使用して固定する



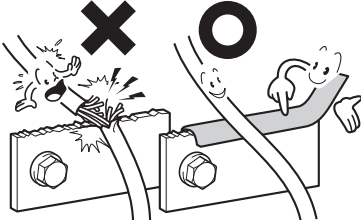
- コネクタは確実に接続する



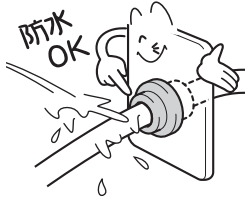
- 無理に引っ張らない



- バリ・エッジ部は保護シート等で保護する



- グロメットから配線する場合は、防水処理を完全にする

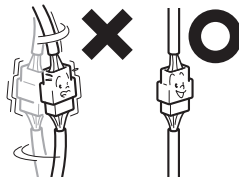


- 車両部品が確実に復元できるようハーネスを処理する



### クランプは

- クランプは締めすぎない
- 余った部分をカットする
- カットした末端が他のハーネスと接触しないようにする
- コネクタを異音がしないようにクランプする
- カットした末端が鋭利にならないようにカットする(ケガ防止)



### 取り付け完了後は

- 車両部品は確実に復元



## ⚠ 注意

バッテリー接続中に作業を行う場合は、エアバッグセンサー等に衝撃を与えないよう充分注意してください。

## 始業点検

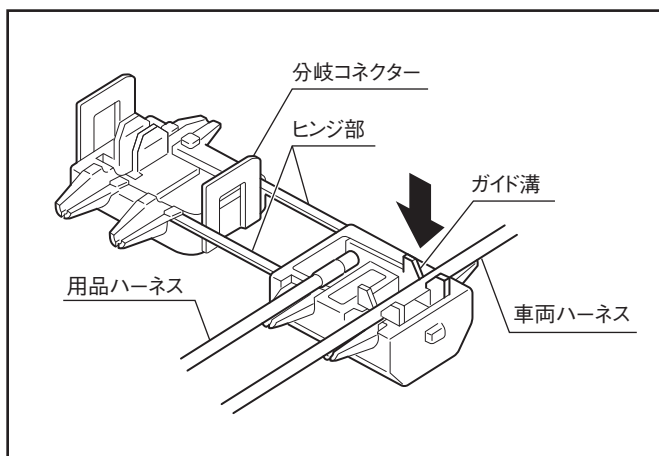
ドアミラー・ドアロック・パワーウインドウ等、電気系統の作動確認を実施してください。

## 分岐コネクターの接続方法

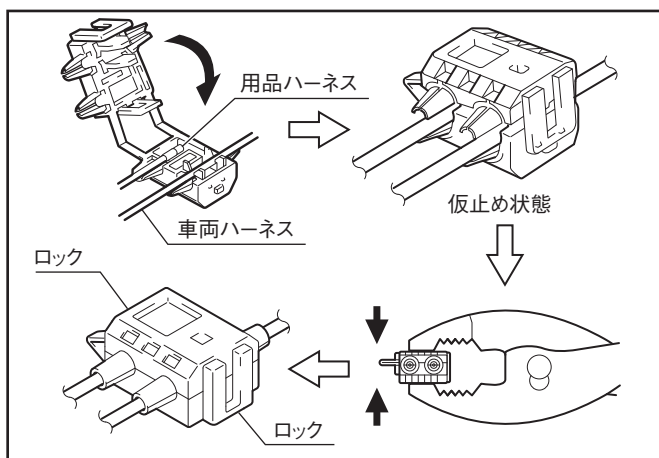
### 分岐コネクター使用上の注意事項

- (1) 車両のビニールチューブ等をカットする際は、車両ハーネスを傷付けないよう充分注意してください。
- (2) 分岐コネクターは、他の用品が装着されている場合でも必ず車両ハーネスに接続してください。
- (3) 分岐コネクター接続時に、クリック音と合わせてロック（2箇所）が確実に嵌合したことを確認してください。
- (4) 接続するコネクターの端子番号及び用品ハーネスと車両ハーネスの線色を確認し、誤った接続をしないよう充分注意してください。
- (5) 同一コネクターに複数の分岐コネクターを接続する場合は、接続位置をずらしてください。
- (6) ヒンジ部が破損しても確実にロック（2箇所）できれば性能上問題ありません。
- (7) 一度使用した分岐コネクターは再使用しないでください。誤って接続した場合、分岐コネクターを車両ハーネスに付けたまま用品ハーネスを切断し、ビニールテープで絶縁処理してください。

### 分岐コネクターの接続手順



1. 接続する車両ハーネスがビニールチューブ及びビニールテープで覆われている場合は、適量をカットしてください。
2. 接続する車両ハーネスを確実にガイド溝へ挿入してください。



3. 車両ハーネスをガイド溝に収めた後、分岐コネクターを折り返し仮止め状態を作り、プライヤー等の工具を使用して左右のロックがかかるまで確実に挟み込んでください。  
(クリック音を確認)
4. 分岐コネクターの異音防止の為、ビニールテープを巻いて処理してください。

## 車両部品の取りはずし概要

No.	車両取りはずし部品名称
①	フロントドアスカッププレート
②	カウルサイドトリム
③	インストルメントパネルアンダーカバー-No.2
④	グラブコンパートメントドアASSY
⑤	インストルメントパネルアンダーカバー-No.1
⑥	コンソールフロントカバー
⑦	パワーウィンドウスイッチ
⑧	フロントドアインサイドハンドルカバー
⑨	フロントドアトリムカバー
⑩	フロントドアトリムボード
⑪	フロントドアサービスホールカバー
⑫	フロントドアスピーカー

## 配線概要

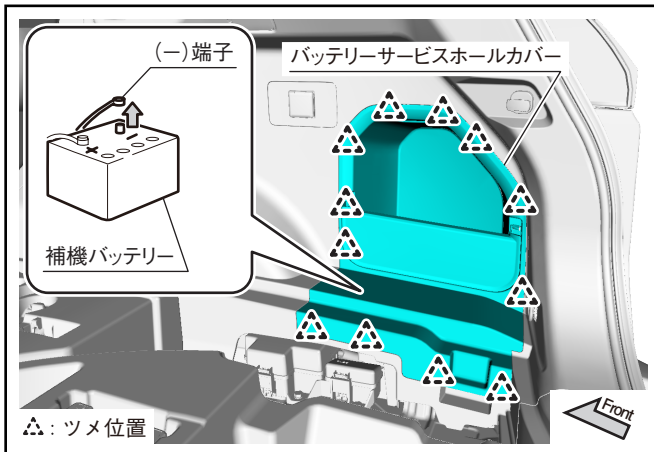
<b>P12-3</b>	付属白色2Pコネクター(オス) 1番(赤)端子挿入 2番(黒)端子挿入
<b>P14-1</b>	白色22P 18番(車両:青藤・紫)(用品:紫) 22番(車両:青藤・青)(用品:青)
<b>P14-3</b>	白色34P 29番(車両:青藤・黄緑)(用品:赤)
<b>P15-2</b>	メインハーネスtoドアハーネス(左) 白色2P
<b>P17-1</b>	メインハーネスtoドアハーネス(右) 白色2P
<b>P20-3</b>	ランプSUB-ASSY 白色2P

**P12-3** は、本文の記載と対応しています。  
 ———— 記載箇所  
 ———— 記載ページ

## 車両部品の取りはずし要領

### 👉 アドバイス

作業前に運転席及び助手席のパワーウィンドウを全閉状態にしてください。パワーウィンドウが開いた状態ではドア内部の配線作業が行えません。



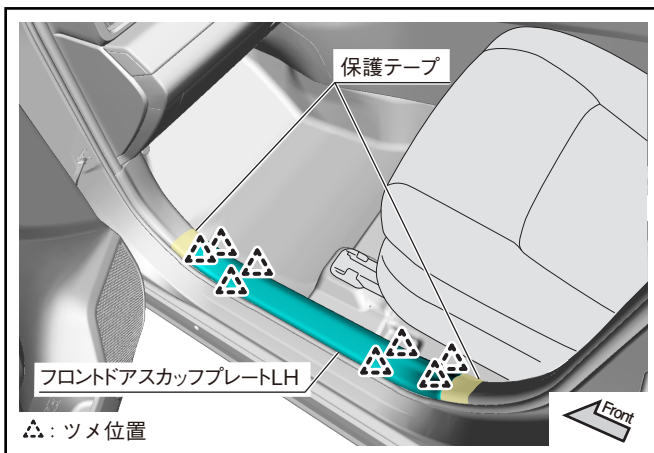
### バッテリー (-) 端子の取りはずし

1. ツメ (12箇所) の嵌合をはずし、バッテリーサービスホールカバーを取りはずす。

### 👉 アドバイス

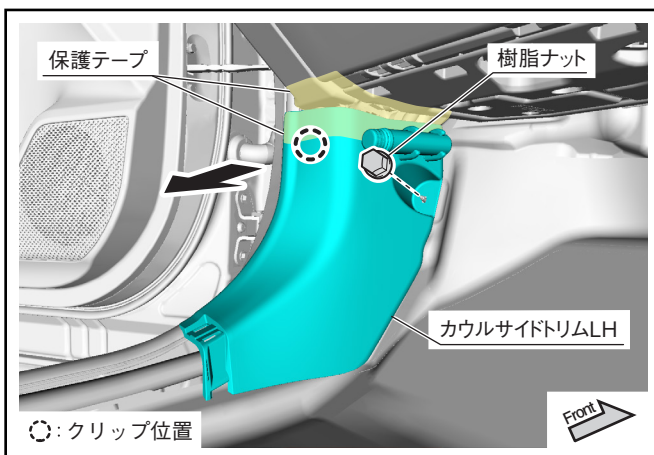
車両の仕様、グレードにより、ツメ位置、個数が異なる場合があります。

2. 補機バッテリーの (-) 端子を取りはずす。



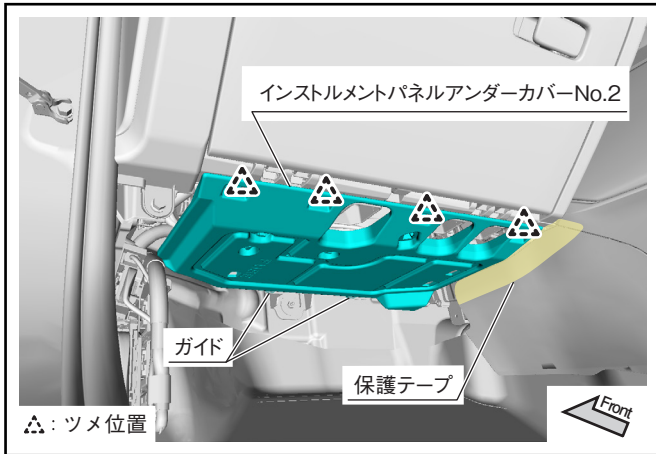
### フロントドアスカッフプレートの取りはずし

1. フロントドアスカッフプレート LH の周りに傷付き防止用の保護テープを貼り付ける。
2. ツメ (8箇所) の嵌合をはずし、フロントドアスカッフプレート LH を取りはずす。
3. 同様に、フロントドアスカッフプレート RH を取りはずす。



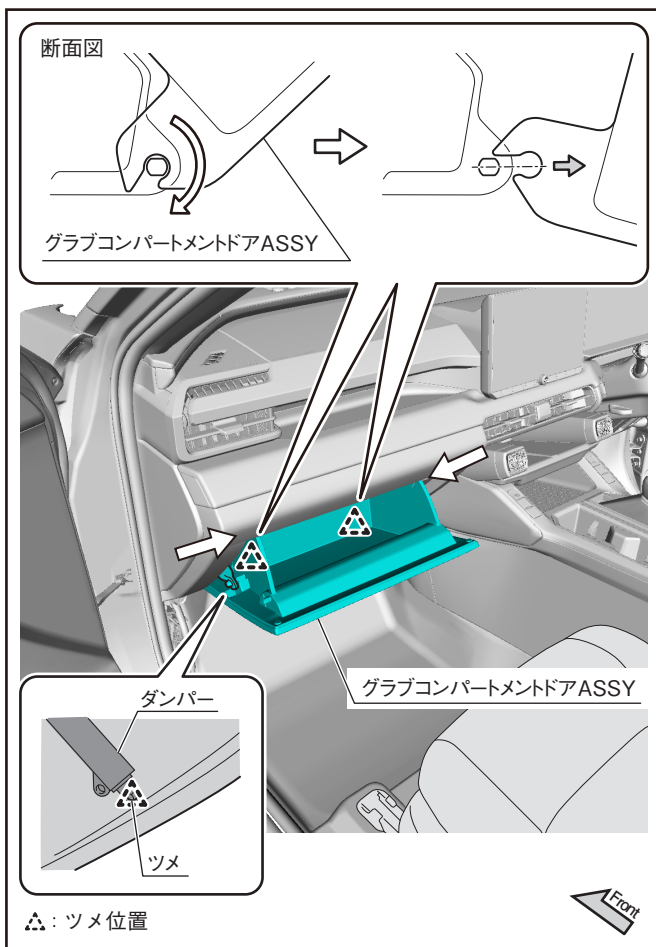
### カウルサイドトリムの取りはずし

1. カウルサイドトリム LH 及びカウルサイドトリム LH の周りに傷付き防止用の保護テープを貼り付ける。
2. 樹脂ナット及びクリップの嵌合をはずし、カウルサイドトリム LH を矢印方向に取りはずす。
3. 同様に、カウルサイドトリム RH を取りはずす。



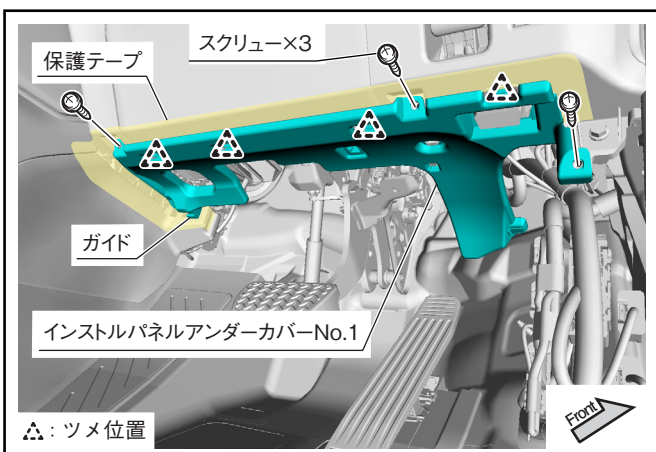
### インストルメントパネルアンダーカバー No.2の取りはずし

1. インストルメントパネルアンダーカバー No.2の周りに傷付き防止用の保護テープを貼り付ける。
2. ツメ (4箇所) の嵌合をはずし、インストルメントパネルアンダーカバー No.2 を取りはずす。



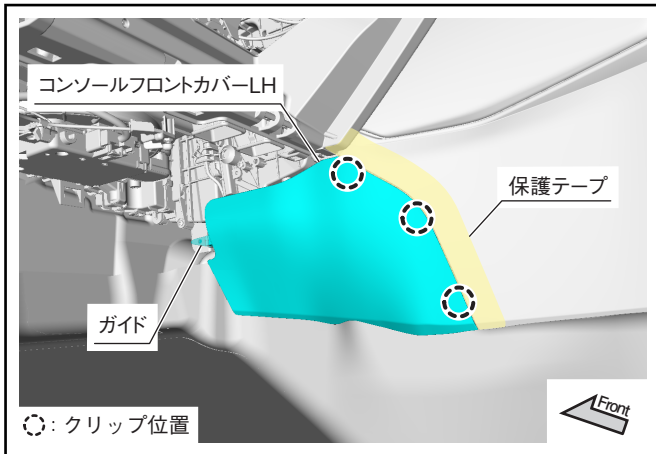
### Grabコンパートメントドア ASSYの取りはずし

1. 図に従い、ツメの嵌合をはずし、Grabコンパートメントドア ASSY からダンパーの接続を取りはずす。
2. Grabコンパートメントドア ASSY の両サイドを内側へ押し、インストルメントパネルからストッパーをはずす。
3. Grabコンパートメントドア ASSY を水平近くまで開き、ツメ (2箇所) の嵌合をはずし、取りはずす。



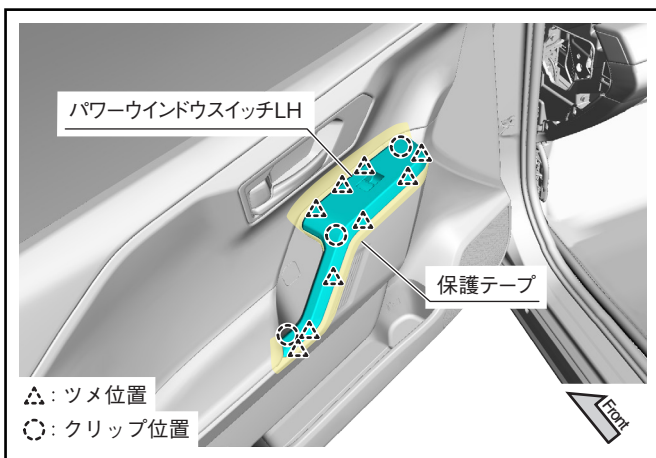
### インストルメントパネルアンダーカバー No.1の取りはずし

1. インストルメントパネルアンダーカバー No.1の周りに傷付き防止用の保護テープを貼り付ける。
2. スクリュー (3本) 及びツメ (4箇所) の嵌合をはずし、インストルメントパネルアンダーカバー No.1 を取りはずす。



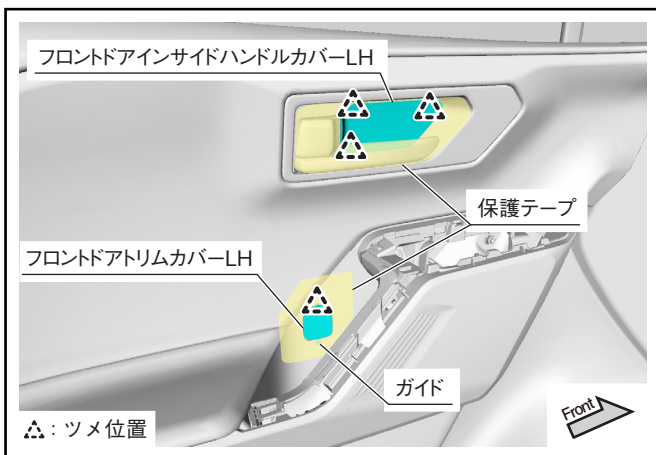
### コンソールフロントカバーの取りはずし

1. コンソールフロントカバー LH の周りに傷付き防止用の保護テープを貼り付ける。
2. クリップ (3箇所) の嵌合をはずし、コンソールフロントカバー LH を取りはずす。
3. 同様に、コンソールフロントカバー RH を取りはずす。

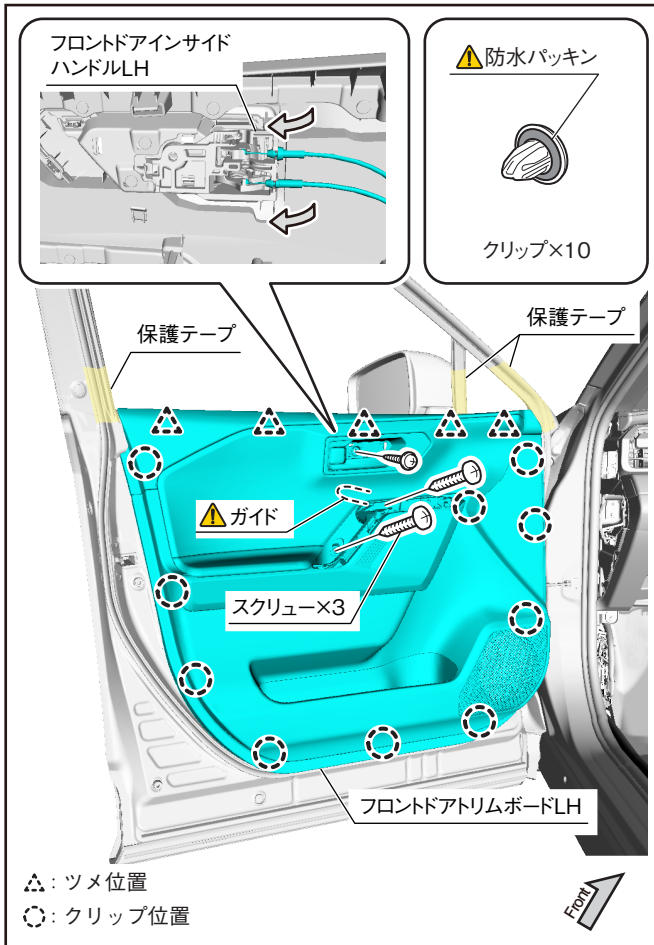


### フロントドアトリムボードの取りはずし

1. 図に従い、傷付き防止用の保護テープを貼り付ける。
2. ツメ (9箇所) 及びクリップ (3箇所) の嵌合をはずし、パワーウィンドウスイッチ LH を取りはずす。
3. 同様に、パワーウィンドウスイッチ RH を取りはずす。



4. 図に従い、傷付き防止用の保護テープを貼り付ける。
5. ツメ (3箇所) の嵌合をはずし、フロントドアインサイドハンドルカバー LH を取りはずす。
6. 同様に、フロントドアインサイドハンドルカバー RH を取りはずす。
7. ツメの嵌合をはずし、フロントドアトリムカバー LH を取りはずす。
8. 同様に、フロントドアトリムカバー RH を取りはずす。

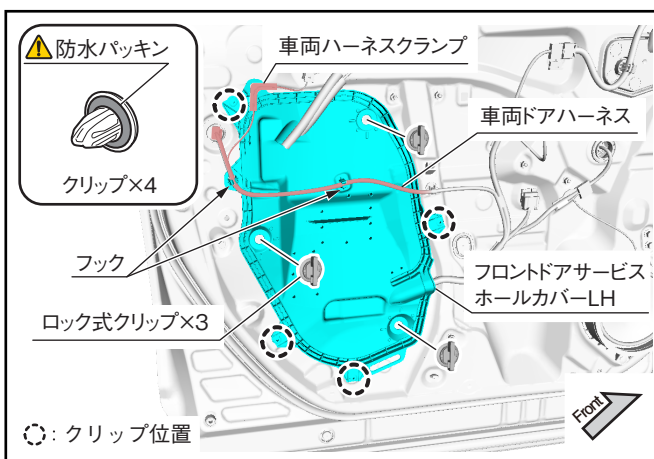


9. 図に従い、傷付き防止用の保護テープを貼り付ける。
10. スクリュー (3本)、ツメ (5箇所) 及びクリップ (10箇所) の嵌合をはずし、フロントドアトリムボード LH を取りはずす。
11. フロントドアインサイドハンドル LH からドアロックケーブル及びドアオープナーケーブルを取りはずす。

### 注意

- ・クリップの防水パッキンの脱落に注意してください。
- ・クリップの防水パッキンがドアパネルに貼り付いている場合は、クリップ側に付け直してください。
- ・フロントドアトリムボード復元の際は、フロントドアインサイドハンドル下部のガイドとドアパネルの穴位置を合わせて取り付けてください。

12. 同様に、フロントドアトリムボード RH を取りはずす。



### フロントドアサービスホールカバーの取りはずし

1. 車両ドアハーネスをフロントドアサービスホールカバー LH のフックから取りはずす。
2. 車両ハーネスクランプをフロントドアサービスホールカバー LH から取りはずす。
3. ロック式クリップ (3個) を取りはずす。
4. クリップ (4箇所) の嵌合をはずし、フロントドアサービスホールカバー LH を取りはずす。

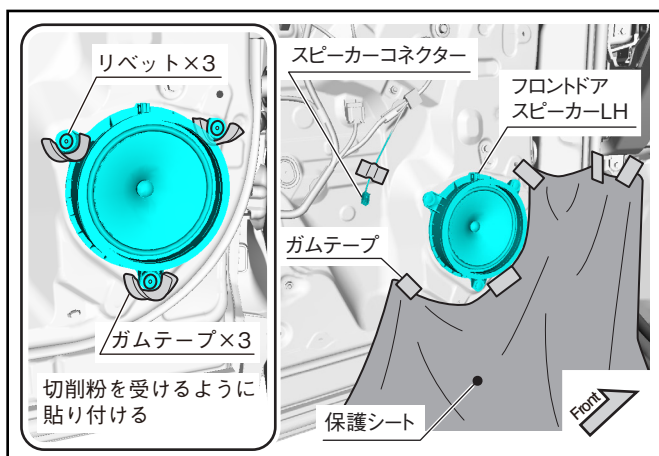
### 注意

- ・クリップの防水パッキンの脱落に注意してください。
- ・クリップの防水パッキンがドアパネルに貼り付いている場合は、クリップ側に付け直してください。

5. 同様に、フロントドアサービスホールカバー RH を取りはずす。

## 👉 アドバイス

- ・「フロントドアスピーカーの取りはずし」は、ドア内部配線作業の作業性向上の為にを行います。  
P.10～P.12に記載の「車両ドアハーネスの切り離し及び復元」がサービスホールから作業可能な場合は、フロントドアスピーカーを取りはずす必要はありません。
- ・用品スピーカーシステムを取り付ける場合は、フロントドアスピーカー復元の際、フロントドアスピーカーの代わりに用品スピーカーを取り付けてください。

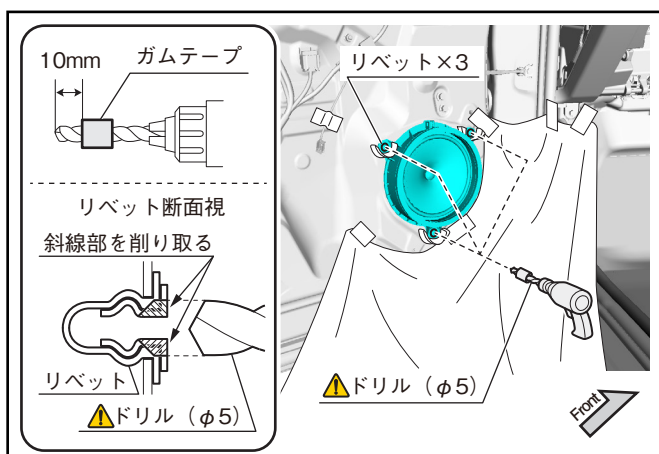


### フロントドアスピーカーの取りはずし

1. フロントドアスピーカー LH のコネクタをはずし、ガムテープでドアパネルに固定する。
2. フロントドアスピーカー LH の周辺に保護シートを敷きガムテープで固定する。
3. 切削粉の飛散を抑える為、フロントドアスピーカー LH を固定しているリベット (3箇所) の周辺に、図のようにガムテープを貼り付ける。

### 注意

傷付き防止の為、パワーウィンドウ LH が開いている場合は全閉状態にしてください。



4. 図に従い、ドリル (φ5) にストッパーとなるようにガムテープを巻き付ける。
5. リベット (3箇所) をドリル (φ5) で削り、フロントドアスピーカー LH を取りはずす。

### ⚠️ 注意

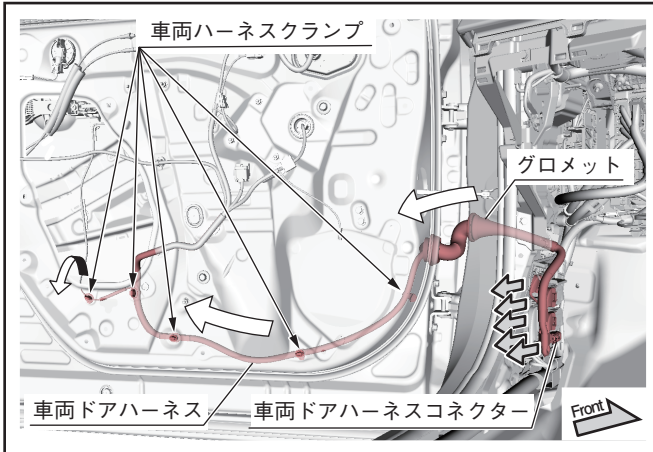
- ・穴あけ加工の際は、保護めがねを着用してください。
- ・巻き込み防止の為、ドリル使用時は手袋を着用しないでください。

### 注意

フロントドアスピーカー LH 等、車両部品を傷付けないように作業を行ってください。

6. 切削粉の飛散に注意してガムテープ (3箇所) を剥がす。
7. リベットの破片及び切削粉を掃除機等で取り除く。
8. 同様に、フロントドアスピーカー RH を取りはずす。

## 配線作業



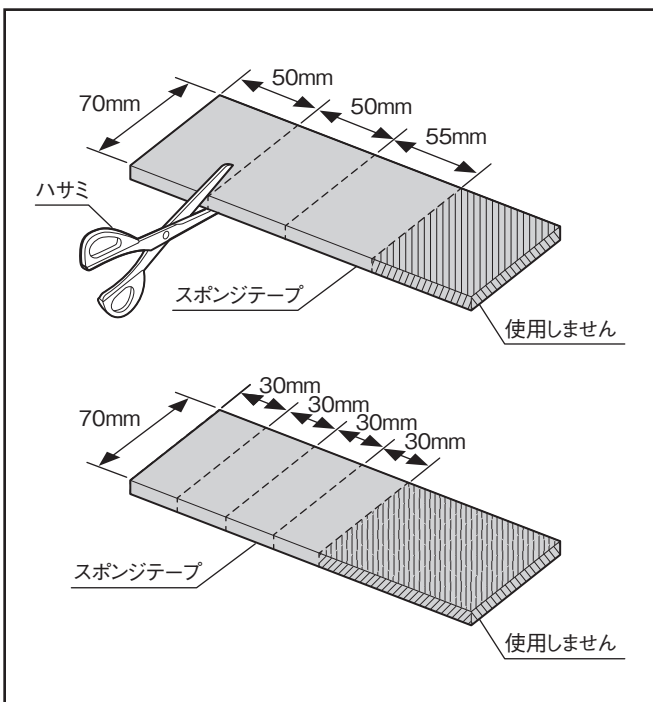
### 車両ドアハーネスの切り離し

1. 車両ドアハーネスのコネクタをすべてはずす。

#### 👉 アドバイス

車両の仕様、グレードにより、コネクタ数が異なる場合があります。

2. グロメット及び車両ドアハーネスのクランプ (5箇所) の嵌合をはずし、車両ドアハーネスをサービスホールから取り出す。

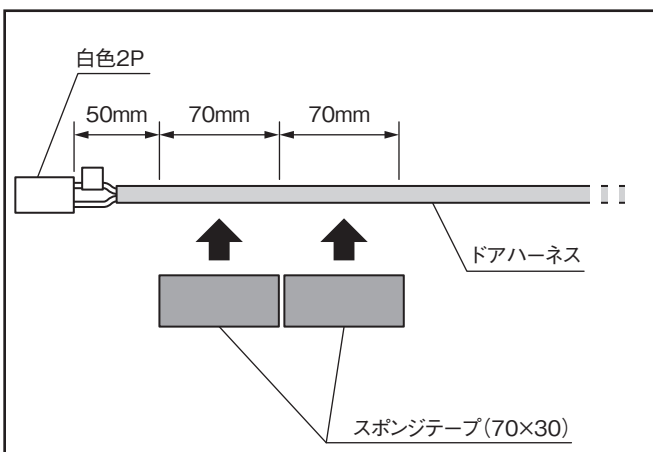


### スポンジテープのカット

1. 図に従い、スポンジテープをカットする。

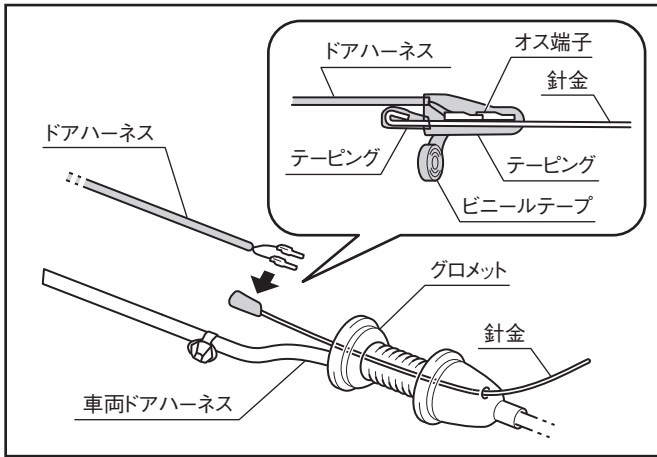
#### 👉 アドバイス

本ページ「ドアハーネスの配線準備」から P.12 「車両ドアハーネスの復元」までは、特別に記載されている箇所を除き、RH側（運転席側）も同様に作業を行ってください。



### ドアハーネスの配線準備

1. カットしたスポンジテープ (70 × 30mm) (2枚) をドアハーネス [Lツ] の左図の位置に巻いて貼り付ける。



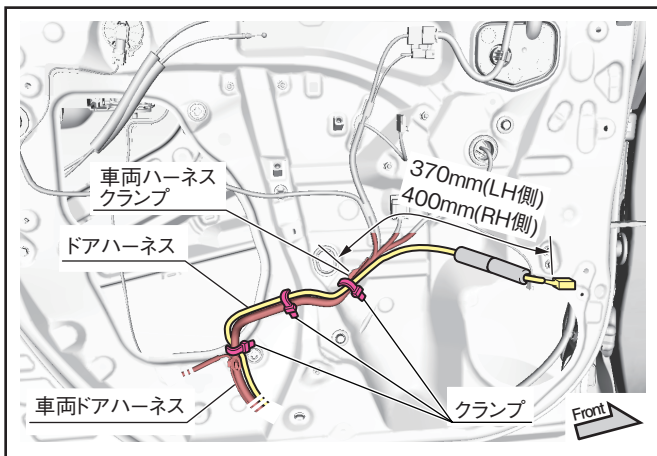
## ドアハーネスの配線

1. 針金の先端を折り曲げ、ビニールテープでテーピングする。
2. 先端をテーピングした針金を、グロメットの室内側からドア側へ通す。

### 🔧 アドバイス

針金を通す穴にテープが巻いてある場合は、穴が見えるところまでテープを剥がしてください。

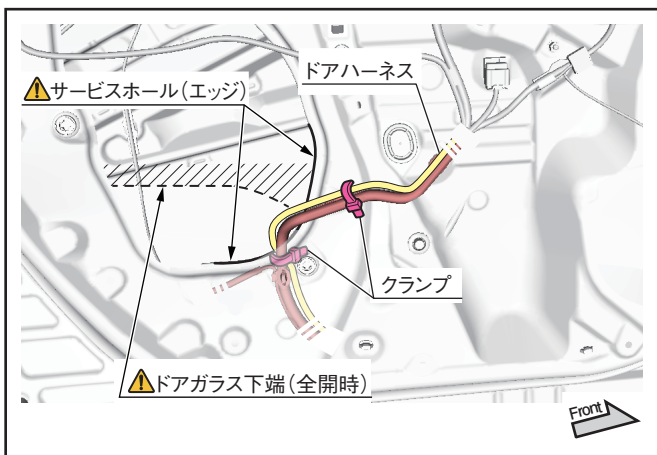
3. ドアハーネスのオス端子を針金にテーピングする。
4. 針金を室内側に引き戻し、ドアハーネスをグロメット内に通す。
5. 図に従い、ドアハーネスのコネクターから図に示す寸法を引き出し、車両ハーネスクランプ部にクランプで固定する。
6. ドアハーネスを車両ドアハーネスに沿って配線し、クランプで固定する。



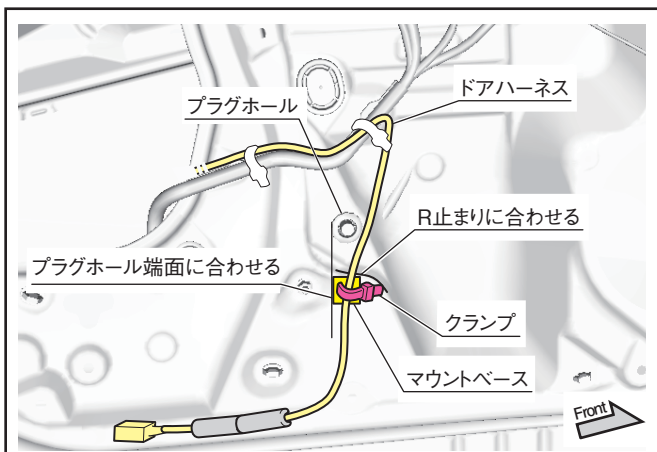
7. 図に従い、ドアハーネスの一部を仮復元する。

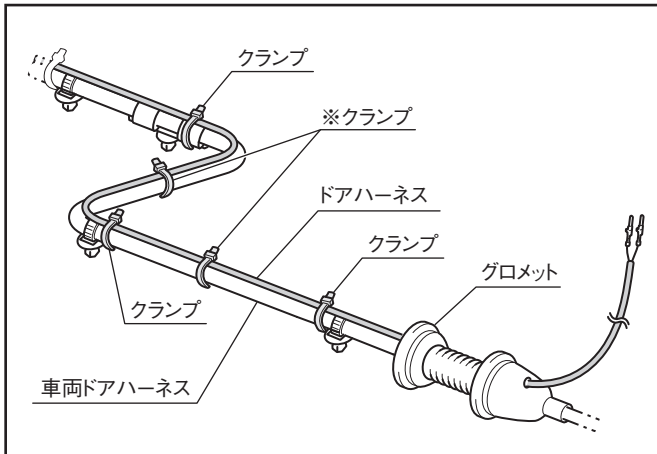
### 注意

ドアハーネスがパワーウィンドウ開閉時にドアガラス下端やサービスホールのエッジと干渉する恐れがある為、仮復元しながら正しい位置になるように固定してください。



8. 図に従い、マウントベース貼り付け位置の油や汚れを脱脂剤等で拭き取る。
9. 図に従い、ドアハーネスをクランプ及びマウントベースで固定する。

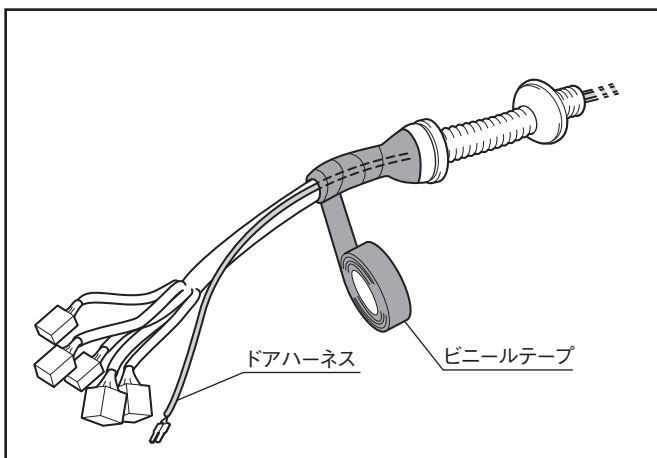




10. ドアハーネスを車両ドアハーネスに沿って配線し、クランプ（5箇所）で固定する。

### 👉 アドバイス

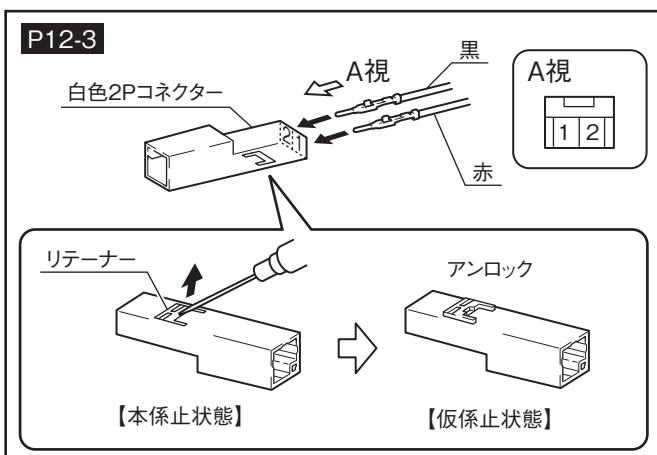
図に※で示すクランプは、車両ハーネスクランプ間の中央に固定してください。



11. 図に従い、ドアハーネスとボデーパネルが直接干渉しないようにグロメットの室内側とドアハーネスをビニールテープで復元する。

### 👉 アドバイス

ドアハーネスが通る、グロメットの室内側の穴まで剥がした場合は、穴も塞ぐようにビニールテープを巻いてください。



12. キット同梱の白色 2P コネクター（オス）のリテーナーを精密ドライバー（-）で仮係止位置まで戻す。

13. 図に従い、ドアハーネスのオス端子を白色 2P コネクター（オス）に挿入する。

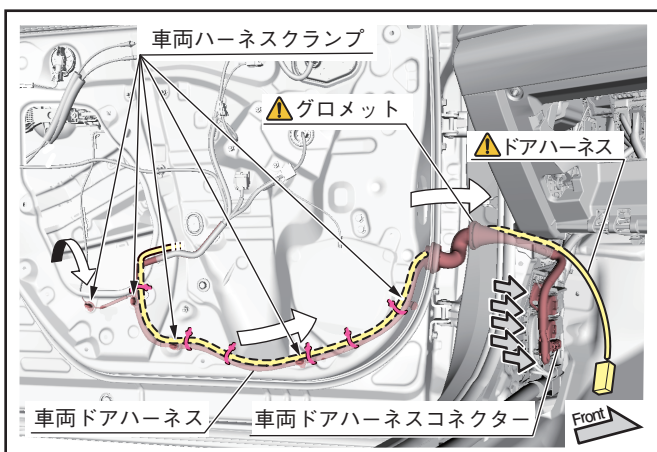
：赤コード→1番

：黒コード→2番

14. 白色 2P コネクター（オス）のリテーナーをロックする。

### 注意

車両火災及び作動不良の恐れがある為、リテーナーで端子を確実にロックしてください。

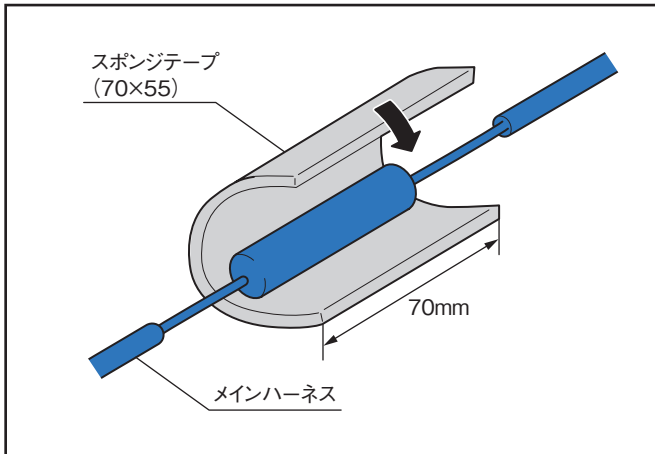


### 車両ドアハーネスの復元

1. ドアハーネスを固定した車両ドアハーネスを復元する。

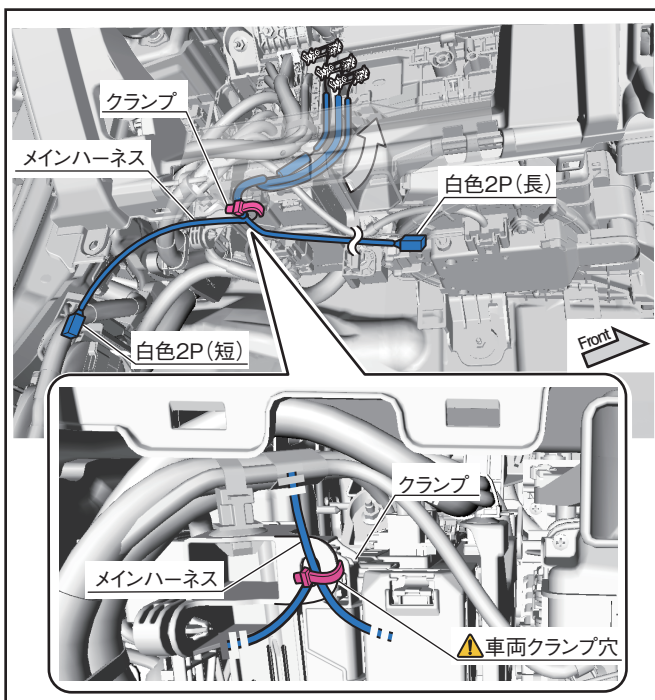
### 注意

- ・グロメットの矢印マークを上向きにし、ハーネス及びグロメットをねじらないように復元してください。
- ・浸水防止の為、グロメットは確実に嵌合させてください。
- ・ドアハーネスがドア内部のエッジ等に干渉していないことを確認してください。



### メインハーネスの仮配線

1. カットしたスポンジテープ (70 × 55 mm) をメインハーネスのヒューズ部に貼り付ける。

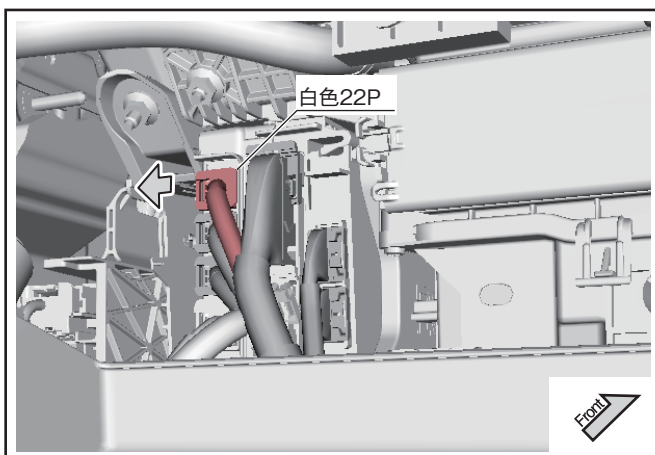


2. 図に従い、メインハーネス (識別記号 [Cア]) の白色 2P (短) と白色 2P (長) の分岐部を車両クランプ穴にクランプで固定する。

### 注意

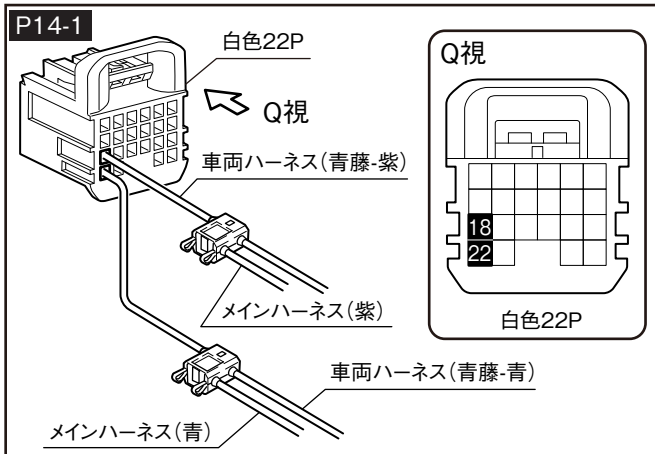
車両クランプ穴に車両ハーネスがクランプされている場合は、車両ハーネスに固定してください。

3. 図に従い、メインハーネスの分岐コネクタ付きハーネスを助手席奥のPDB付近に仮配線する。



### 分岐コネクタの接続

1. 図に従い、白色 22P (メス) を取り出す。

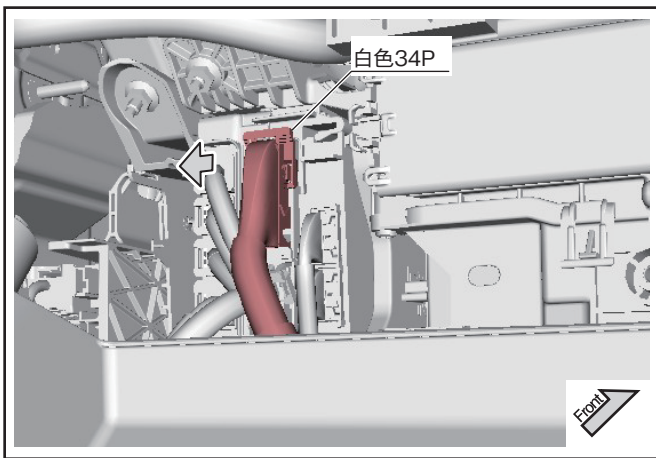


2. 図に従い、白色 22P コネクターにメインハーネスの分岐コネクターを接続する。

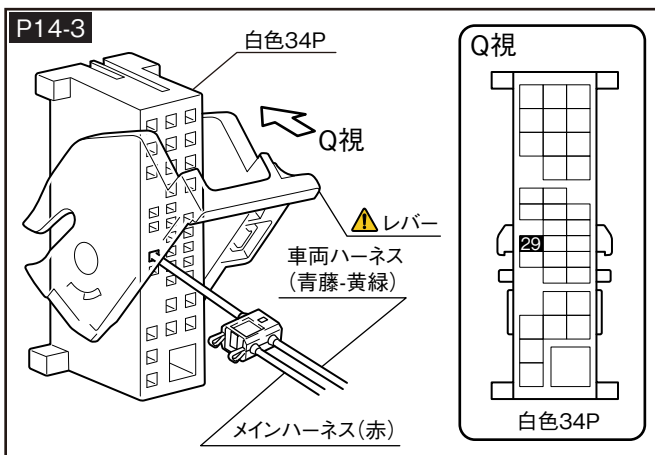
車両：18 番コード (青藤 - 紫) ←用品：紫コード

車両：22 番コード (青藤 - 青) ←用品：青コード

3. 白色 22P コネクターを復元する。



4. 図に従い、白色 34P コネクターを取り出す。



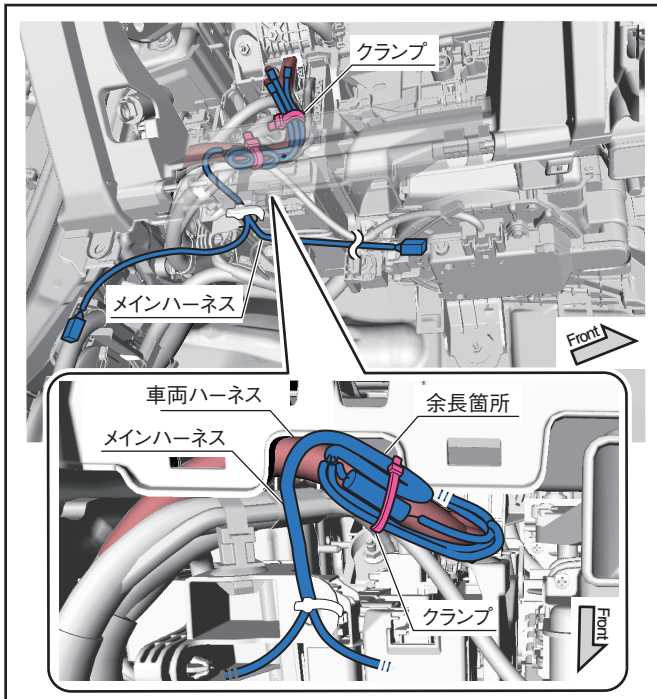
5. 図に従い、白色 34P コネクターにメインハーネスの分岐コネクターを接続する。

車両：29 番コード (青藤 - 黄緑) ←用品：赤コード

6. 白色 34P コネクターを復元する。

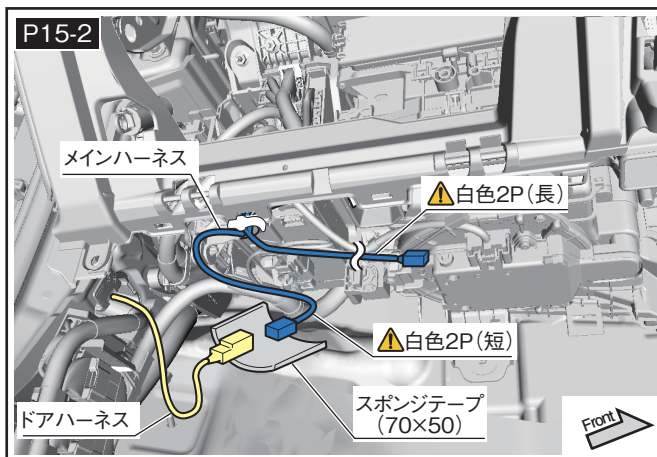
### 注意

コネクター脱着の妨げになる為、分岐コネクターは、レバーの可動域を避けて接続してください。



## メインハーネスの固定

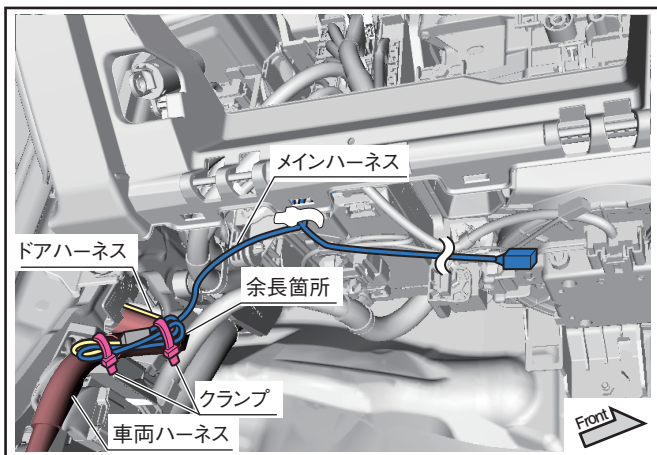
1. 図に従い、メインハーネスをクランプで車両ハーネスに固定する。
2. 図に従い、メインハーネスの余長を束ね、車両ハーネスにクランプで固定する。



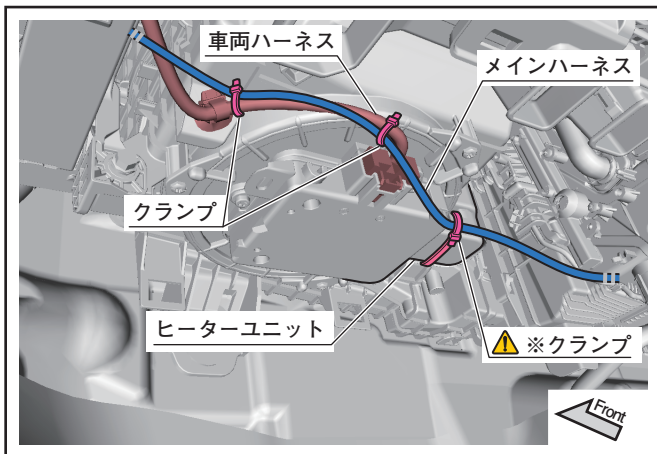
3. 図に従い、メインハーネスの白色 2P コネクター (メス / 短い方) とドアハーネスの白色 2P コネクター (オス) を接続し、カットしたスポンジテープ (70 × 50mm) を貼り付ける。

## 注意

メインハーネスの白色 2P コネクター (メス) は、短い方が助手席側 / 長い方が運転席側のドアハーネスと接続します。接続先を間違えないように注意してください。



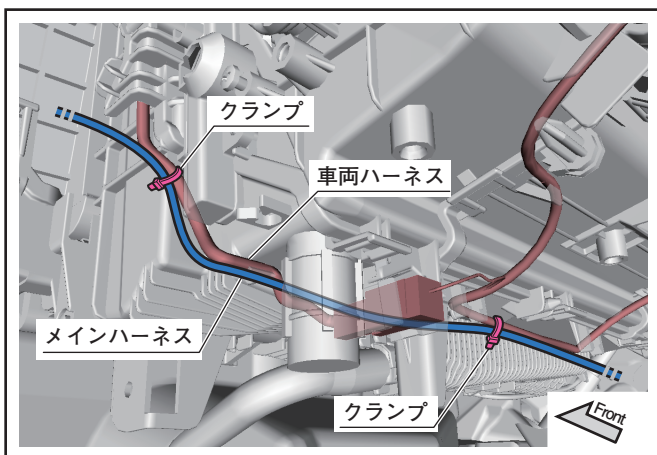
4. 図に従い、ドアハーネス及びメインハーネスの余長を束ね、車両ハーネスにクランプで固定 (2箇所) する。



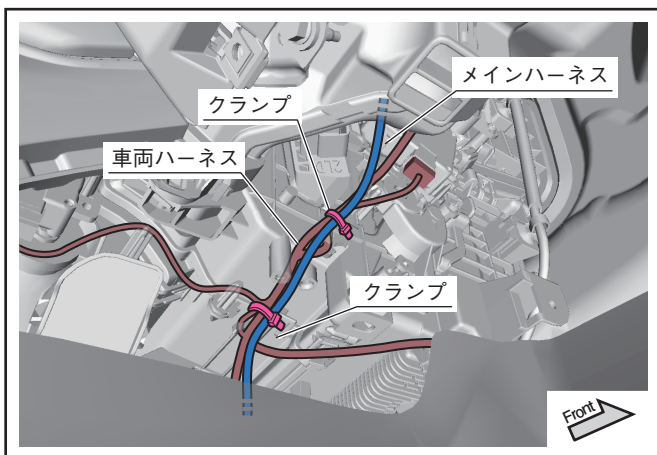
5. 図に従い、メインハーネスを車両ハーネスにクランプで固定（2箇所）する。
6. 図に従い、メインハーネスをヒーターユニットにクランプで固定する。

### 注意

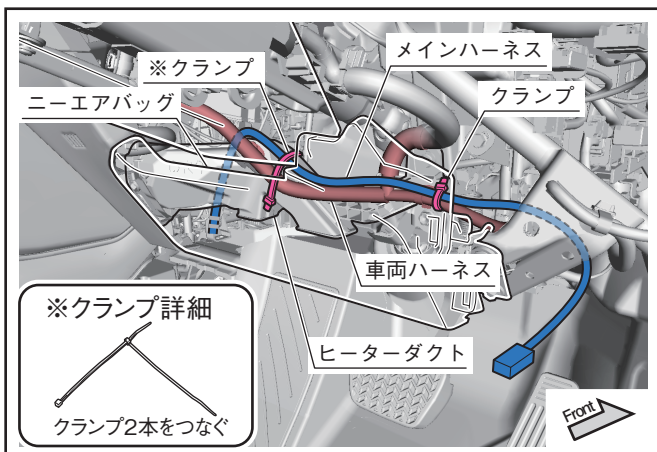
図に※で示すクランプは、ヒーターユニットに固定してください。



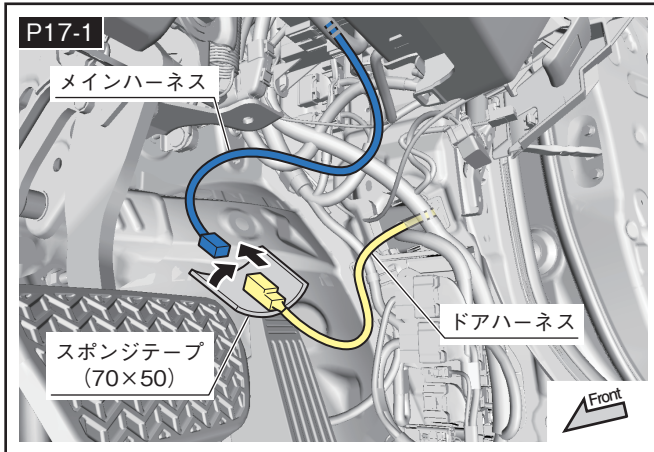
7. 図に従い、メインハーネスを車両ハーネスにクランプで固定（2箇所）する。



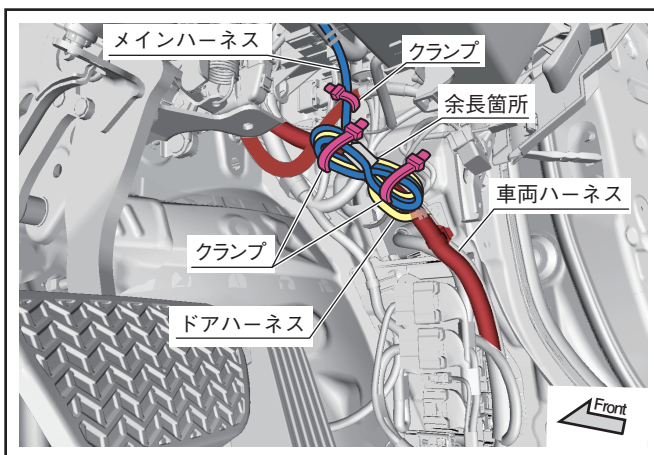
8. 図に従い、メインハーネスを車両ハーネスにクランプで固定（2箇所）する。



9. 図に従い、メインハーネスを2本つなげたクランプでヒーターダクトに固定する。
10. 図に従い、メインハーネスを車両ハーネスに固定する。



11. 図に従い、メインハーネスの白色 2P コネクター (メス) とドアハーネスの白色 2P コネクター (オス) を接続し、カットしたスポンジテープ (70 × 50mm) を貼り付ける。



12. 図に従い、メインハーネスを車両ハーネスにクランプで固定する。
13. 図に従い、ドアハーネス及びメインハーネスの余長を束ね、車両ハーネスにクランプで固定 (2箇所) する。

## ランプSUB-ASSYの取付

### 🔧 アドバイス

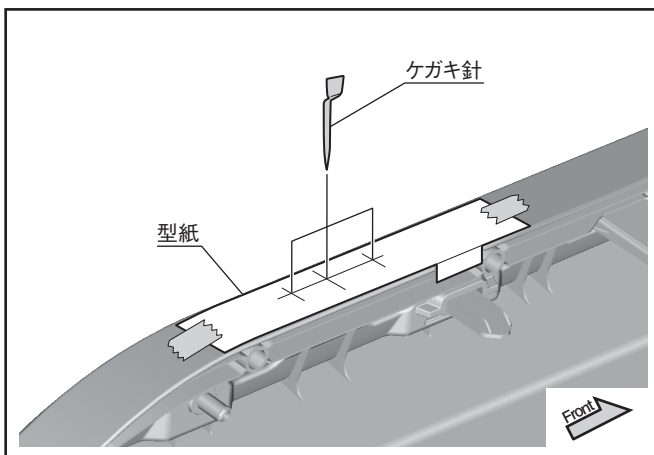
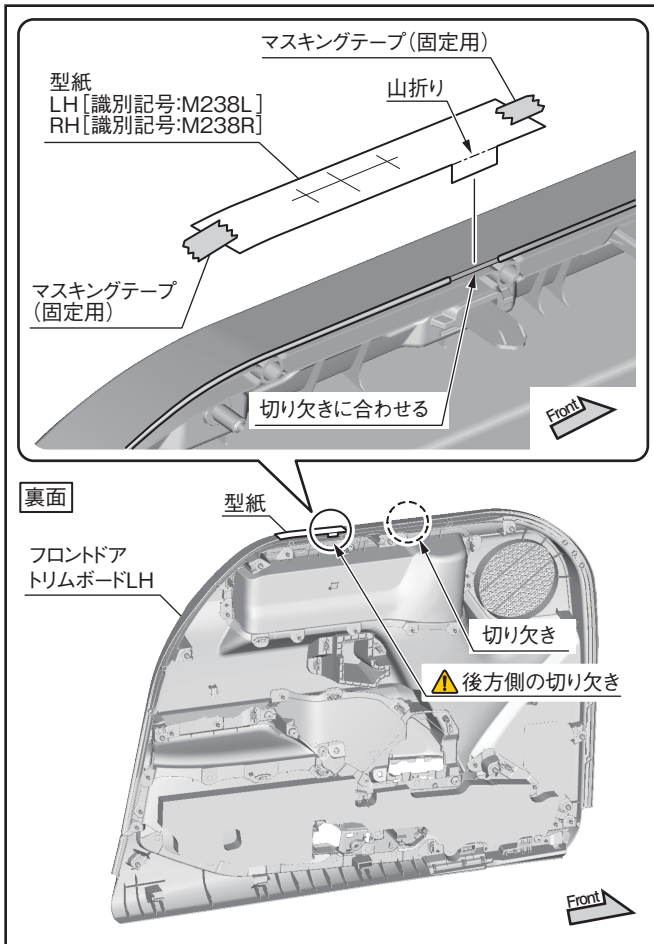
本ページ「型紙の貼り付け」から P.20「フロントドアトリムボードの復元」までは、特別に記載されている箇所を除き、RH側（運転席側）も同様に作業を行ってください。

### 型紙の貼り付け

1. 型紙 LH の指示に従い、フロントドアトリムボード LH にマスキングテープ等で貼り付ける。

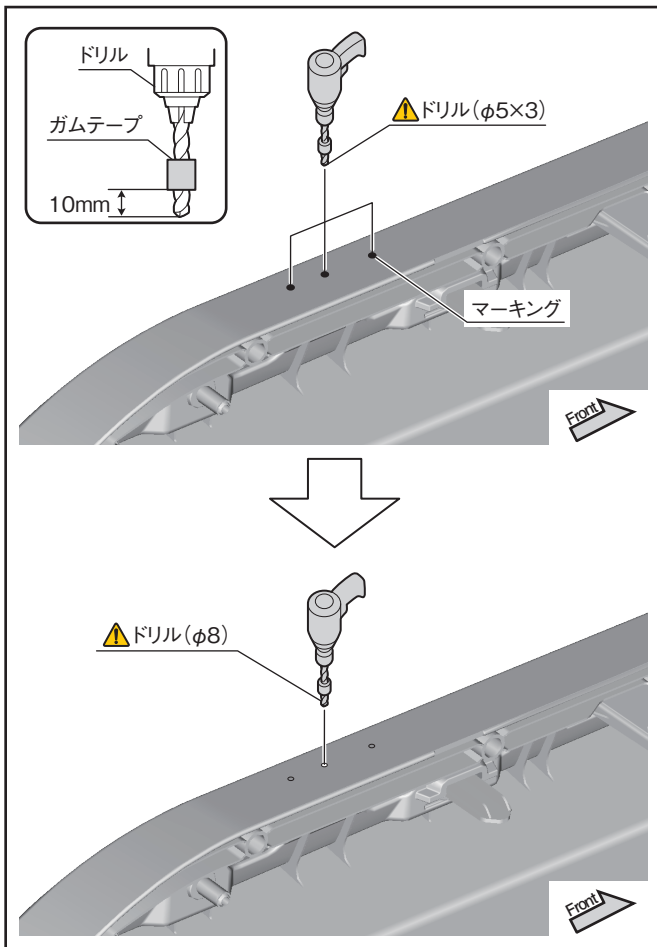
### 注意

切り欠きはフロントドアトリムボードに2箇所あります。後方側の切り欠きへ型紙を貼り付けてください。



### フロントドアトリムボードの加工

1. 型紙の指示に従い、穴中心（3箇所）をケガキ針でマーキングする。
2. 型紙及びマスキングテープをはずす。



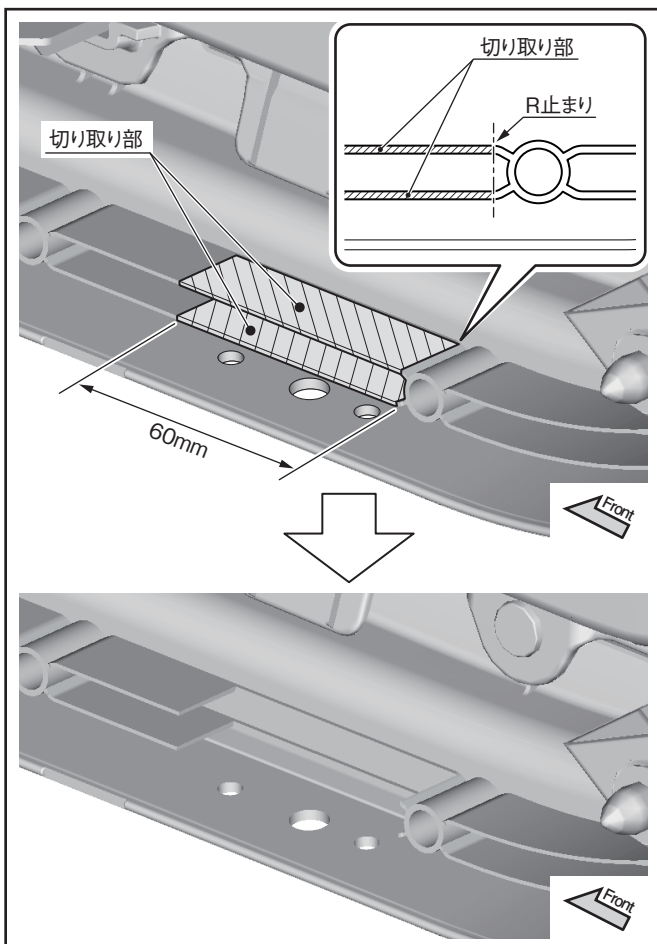
3. 型紙の指示に従い、マーキングを行った箇所（3箇所）に、ドリル（φ5）で穴あけ加工する。
4. 型紙の指示に従い、穴あけ加工を行った箇所（1箇所）に、ドリル（φ8）で穴あけ加工する。

### ⚠ 注意

- ・穴あけ加工の際は、保護めがねを着用して作業をしてください。
- ・巻き込み防止の為、ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

### 注意

- ・車両部品傷付き防止の為、ドリル先端から約10mmの位置にストッパーとなるようにガムテープを巻いてください。
- ・穴あけ加工時、ドリルは加工面に対して垂直にして作業してください。
- ・切粉などは、掃除機を使用して除去してください。

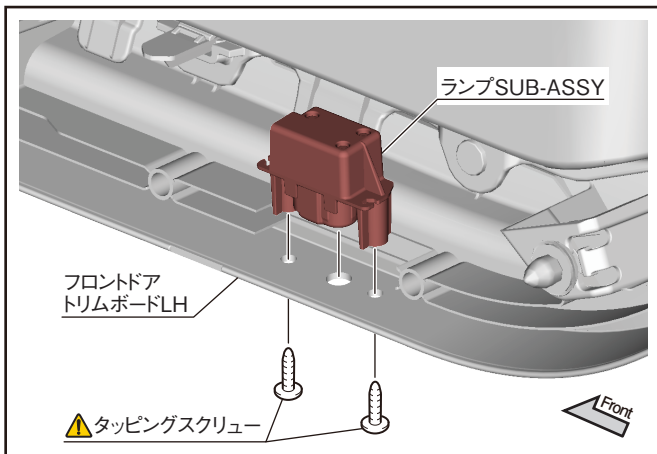


5. 図に従い、穴あけ加工を行った箇所の裏側の切り取り部（2箇所）をカットする。

### ⚠ 注意

- ・カッターを使用する際は、ケブラ手袋を着用してください。

6. 加工部のバリやエッジをヤスリ等で取り除く。

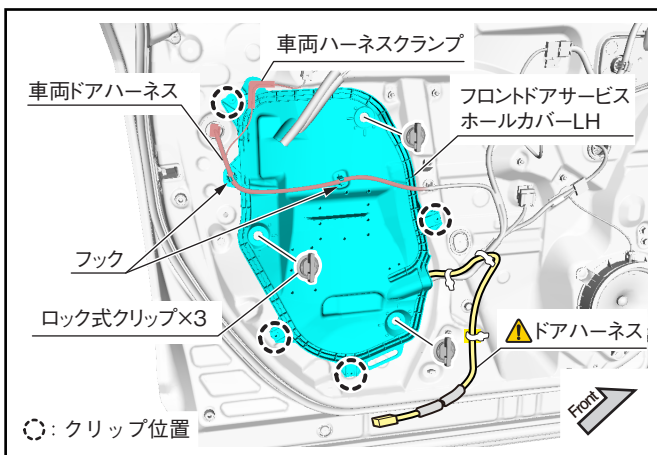


## ランプ SUB-ASSY の取付

1. 図に従い、ランプ SUB-ASSY をタッピングスクリュー（2本）でフロントドアトリムボード LH に取り付ける。

### 注意

- ・ 灯体のレンズ部と加工穴が一致していることを確認してから取り付けてください。
- ・ タッピングスクリューは取付穴に対してまっすぐに締め付けてください。

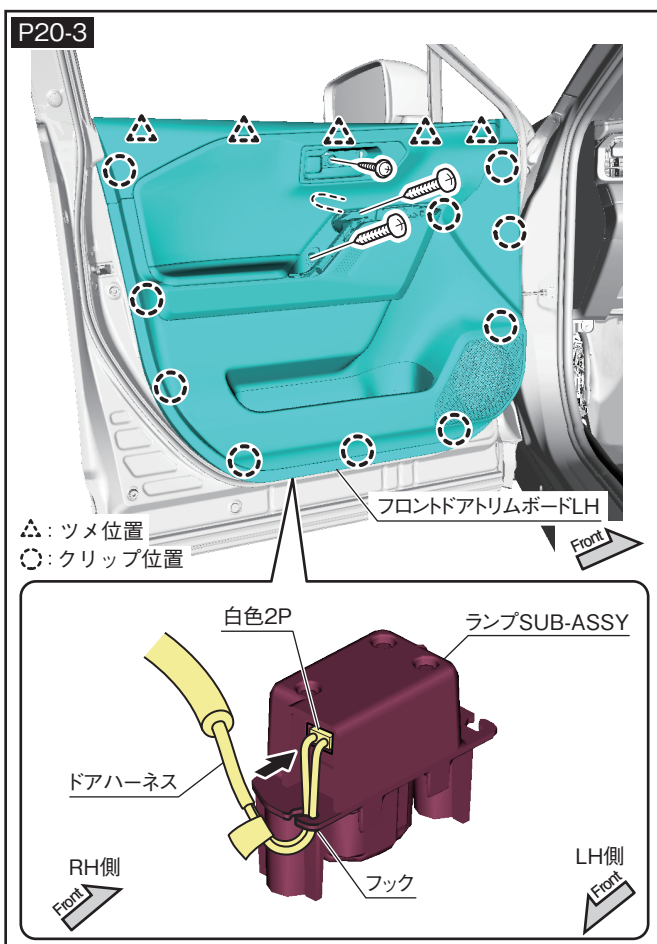


## フロントドアサービスホールカバーの復元

1. 取りはずしと逆の手順でフロントドアサービスホールカバー LH を復元する。

### 注意

- フロントドアサービスホールカバー復元の際、ドアハーネスを挟み込まないように注意して復元してください。



## フロントドアトリムボードの復元

### アドバイス

スピーカーをはずした場合は、ランプ SUB-ASSY にコネクターを接続後、フロントドアトリムボードを仮復元して作動確認を行ってください。作動確認完了後、一旦トリムをはずしてスピーカーを復元した後、フロントドアトリムボードを復元してください。

1. 図に従い、ランプ SUB-ASSY にドアハーネスの白色 2P コネクターを接続する。

### アドバイス

- ・ コネクターの位置を確認して、確実に接続してください。
- ・ コネクターが接続しにくい場合は、ランプ SUB-ASSY を固定している、タッピングスクリューを一旦緩めて作業してください。

2. 図に従い、ランプ SUB-ASSY のフックにドアハーネスを固定する。
3. 取りはずしと逆の手順でフロントドアトリムボード LH を復元する。

# 作動確認

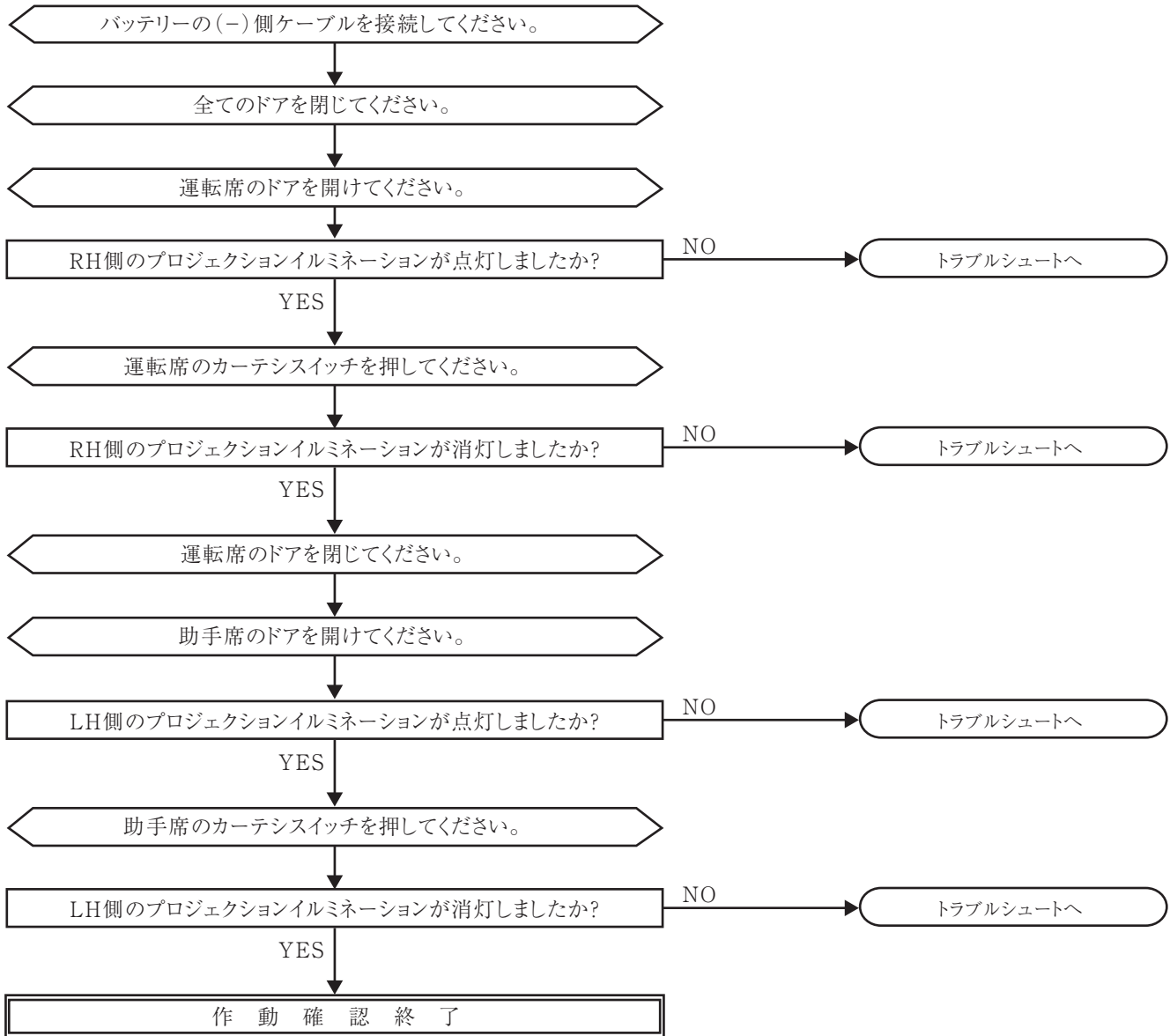
## 1. 取り付けの確認

作動確認の前に、配線や取り付けに異常がないことを確認してください。

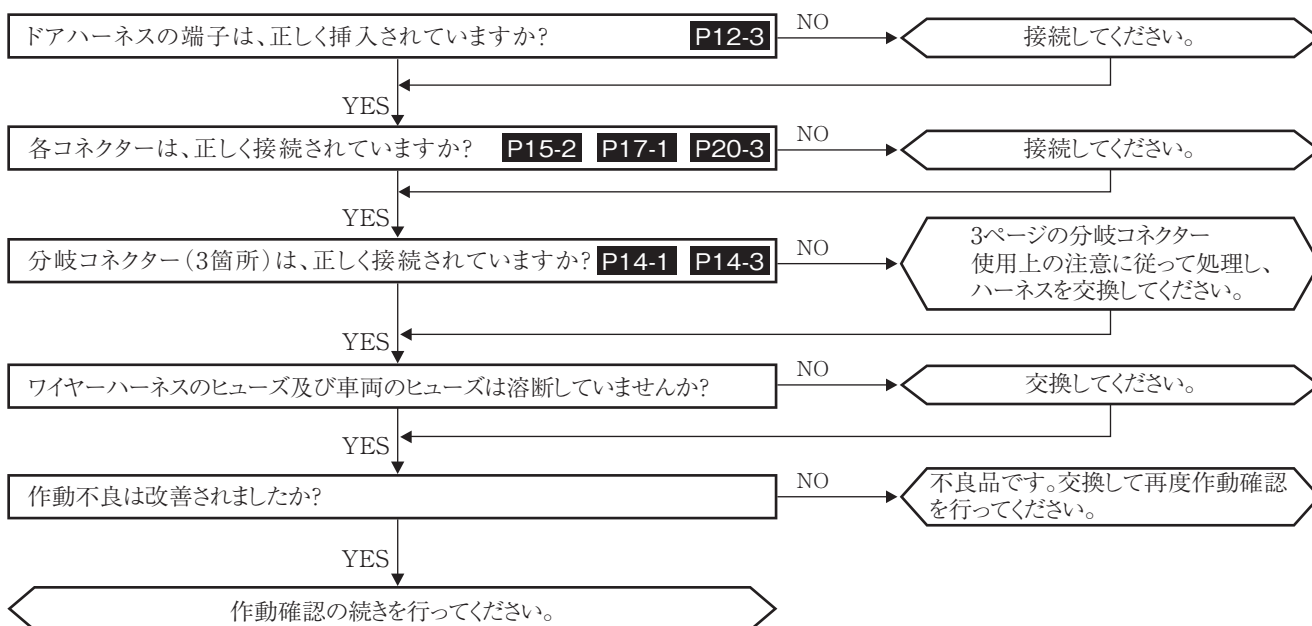
## 2. 作動確認

以下の手順に従い、作動確認を行ってください。

また、作動不良が発生した場合は、トラブルシュートに移り、点検を実施してください。



## トラブルシュート

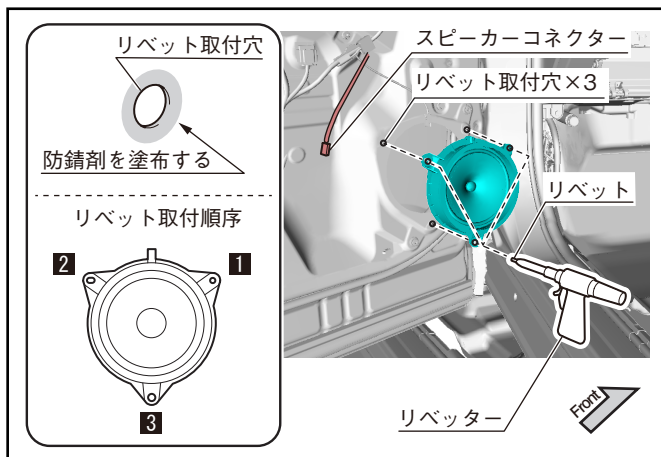


## 復元作業

「作動確認」完了後、取りはずした車両部品を下記の点に注意し、元通りに取り付けてください。

### 注意

復元作業は、車両ハーネス及び用品ハーネスの噛み込みや、車両部品の損傷に充分注意してください。



### アドバイス

用品スピーカーシステムを取り付ける場合は、フロントドアスピーカーの代わりに用品スピーカーを取り付けてください。

### フロントドアスピーカー LH の復元

1. フロントドアスピーカー LH のリベット取付穴 (3箇所) に防錆剤を塗布し、完全に乾燥させる。
2. 図中 **1** ~ **3** の順に、フロントドアスピーカー LH をリベット (3個) でフロントドアに固定する。
3. スピーカーコネクタを接続する。
4. 同様に、フロントドアスピーカー RH を復元する。

### バッテリー復元時の注意事項

バッテリー復元作業終了後に、車両システムによっては初期化が必要な場合があります。

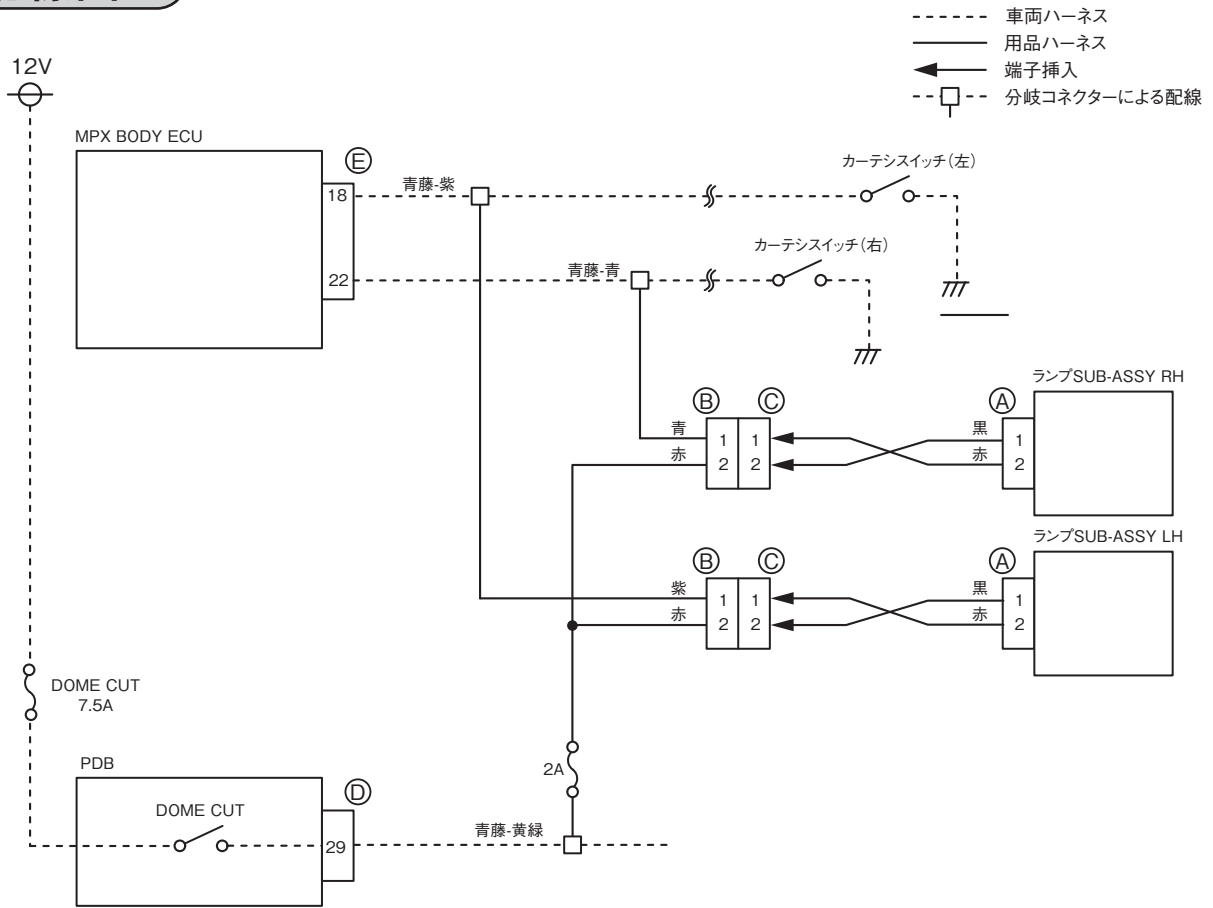
車両修理書を参考に初期化作業を行ってください。

※車両システムの初期化には、GTS+ 等のツールが必要な場合があります。

## 最終確認

1. ハーネス類の噛み込み及び車両部品の取り付けミスがないかもう一度確認してください。
2. ドアミラー・ドアロック・パワーウィンドウ等、電気系統に異常がないか確認してください。

# 配線図



## コネクタ番号

